

昭和大学 一般  
平成 23 年度 入学試験問題  
医学部 (Ⅱ期)

英語・数学

注意事項

1. 試験時間 平成 23 年 3 月 5 日、午前 9 時 30 分から 12 時まで
2. 配付した試験問題(冊子)、解答用紙の種類はつぎのとおりです。
  - (1) 試験問題(冊子、左折り)(表紙・下書き用紙付)  
英語(その 1, その 2)  
数学(その 1, その 2)
  - (2) 解答用紙  
英語(その 1) 1 枚(上端黄色)(右肩落し)  
" (その 2) 1 枚(上端黄色)(左肩落し)  
数学(その 1) 1 枚(上端茶色)(右肩落し)  
" (その 2) 1 枚(上端茶色)(左肩落し)
3. 下書きが下書き用紙で足りなかったときは、試験問題(冊子)の余白を使用して下さい。
4. 試験開始 2 時間以後からは退場を許可します。但し、試験終了 10 分前以降の退場は許可しません。
5. 受験中にやむなく外出(手洗い等)を望むものは挙手し、監督者の指示に従って下さい。
6. 退場の際は、この試験問題(冊子)を一番上にのせ、挙手し監督者の許可を得てから、試験問題(冊子)、受験票および所持品携行の上退場して下さい。
7. 休憩のための退場は認めません。
8. 試験終了のチャイムが鳴ったら、直ちに筆記をやめ、おもてのまま上から解答用紙[英語(その 1), 英語(その 2), 数学(その 1), 数学(その 2)], 試験問題(冊子)の順にそろえて確認して下さい。確認が終っても、指示があるまでは席を立たないで下さい。
9. 試験問題(冊子)はお持ち帰り下さい。
10. 監督者退場後、試験場で昼食をとることは差支えありません。ゴミ入れは場外に設置してあります。
11. 午後の集合は 1 時 15 分です。

# 数 学 (その 1)

1

次の各間に答えよ。ただし、答は結果のみを解答欄に記入せよ。

- (1) A, B の二人がそれぞれ 2 枚の硬貨を持って同時に投げ、表の出た枚数の多い方を勝ちとする。勝負がつかないときは再び硬貨投げを繰り返し、どちらかが勝つまで続けるとする。ただし、どの硬貨も表の出る確率は  $\frac{1}{2}$  とする。
- (1-1) 1 回の硬貨投げで A が勝つ確率を求めよ。
- (1-2) 1 回の硬貨投げで勝負がつかない確率を求めよ。
- (1-3)  $n$  回目の硬貨投げで A が勝つ確率を求めよ。ただし、 $n$  は正の整数とする。
- (1-4) 硬貨投げの回数が  $n$  回以下で勝負がつく確率を求めよ。ただし、 $n$  は正の整数とする。
- (2) 三角形 OAB は辺の長さが  $a (a > 0)$  の正三角形である。辺 OA を 1 : 2 に内分する点を L, OB を 2 : 1 に内分する点を M とし、線分 AM, BL の交点を N とする。また、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とする。
- (2-1)  $\overrightarrow{ON} = x\vec{a} + y\vec{b}$  となる実数  $x, y$  を求めよ。
- (2-2) 線分 NA の長さを求めよ。
- (2-3) 線分 NL の長さを求めよ。
- (2-4)  $\angle ANL = \theta$  とおく。 $\cos \theta$  を求めよ。

2

自然数  $n$  に対して、正の整数  $a_n, b_n$  を

$$(4 + \sqrt{3})^n = a_n + b_n\sqrt{3}$$

により定める。ただし、上の式を満たす整数  $a_n, b_n$  がただ一組に限ることは使用してよいとする。次の各間に答えよ。

- (1)  $a_1, b_1$  および  $a_2, b_2$  を求めよ。
- (2)  $a_{n+1}, b_{n+1}$  を  $a_n, b_n$  を用いて表せ。
- (3) 任意の  $n$  について、 $a_n$  を 3 で割ると 1 余ることを示せ。
- (4) 任意の  $n$  について、 $b_n$  を 3 で割った余りと  $n$  を 3 で割った余りは等しいことを示せ。

## 数 学 (その 2)

3

次の各間に答えよ。ただし、答は結果のみを解答欄に記入せよ。

(1)  $3^x = 5^y = 7^z = t$  で  $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = 2$  であるとき、 $t$  の値を求めよ。

(2) 不等式  $\frac{1 - \cos \theta}{1 + \cos \theta} > \tan \theta$  ( $0 \leqq \theta < \frac{\pi}{2}$ ,  $\frac{\pi}{2} < \theta < \pi$ ) を満たす  $\theta$  の範囲を求めよ。

(3) 2つの行列  $A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ -2 & 3 \end{pmatrix}$ ,  $B = \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$  がある。次の間に答えよ。

(3-1) 行列  $B$  の逆行列  $B^{-1}$  を求めよ。

(3-2)  $A = B^{-1}CB$  となる行列  $C$  を求めよ。

(3-3)  $A^n$  を求めよ。ただし、 $n$  は自然数とする。

4

次の各間に答えよ。ただし、答は結果のみを解答欄に記入せよ。

(1)  $f(x) = \sin x + x \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(t - \frac{\pi}{2}) dt$  を満たす関数  $f(x)$  を求めよ。

(2) 放物線  $y = 3x^2$  と 3 直線  $x = a$ ,  $x = 1$ ,  $y = 0$  で囲まれた部分を  $S_1$  とする。また、放物線  $y = 3x^2$  と 2 直線  $x = a$ ,  $y = 0$  で囲まれた部分を  $S_2$  とする。ただし、 $a$  は  $0 < a < 1$  を満たす実数とする。次の間に答えよ。

(2-1)  $S_1$  を  $x$  軸のまわりに回転してできる回転体の体積  $V_1$  を求めよ。

(2-2)  $S_2$  を  $y$  軸のまわりに回転してできる回転体の体積  $V_2$  を求めよ。

(2-3)  $V_1 + V_2$  の最大値を求めよ。